

# 日本カヌー選手権

## 西山選手が準優勝

### 女子シングル1000メートル

日本カヌースプリント選手権大会(日本カヌー連盟主催)が1〜6日、東京都の海の森水上競技場であり、県カヌー協会の所属で出場した西山史扇選手(28)＝県教育庁＝が女子カヤックシングル1000メートルで準優勝した。

日本選手権は、高校生や大学生、一般の選手が年齢に係なく競った。西山選手は女子カヤックシングル1000メートルで4分53秒405を記録し、トップと4秒差で銀メダルを獲得した。10月4〜7日にある茨城国体



カヌースプリントの日本選手権に出場した(左から)阪本直也、小林実央、西山史扇、富塚晴之、栗原萌衣の5選手＝田辺市新庄町で

には200メートルと500メートルで出場する。「自分を鍛えるために1000メートルに参加し、最後まで集中してこることができた。国体まで残りわずかなので、効率よく練習したい」と手心えを語った。

県カヌー協会所属の選手では、阪本直也選手(31)＝神島高校3年の小林実央さん(18)は、女子カナディアンシングルの200メートルで6位、500メートルで7位だった。大学に進学してカヌーを続けたいという小林さんは「上の世代の人に勝ちたいという気持ちで臨んだ。来年4月にある東京五輪の最終選考会に向けて

頑張りたい」と目標を語った。田辺工業高校3年の富塚晴之君(17)は男子カヤックシングルの1000メートルで11位、500メートルで13位。茨城国体に出場し、高校卒業後もカヌーを続ける予定。富塚君は「今回は上のレベルの選手と競って、もっと頑張ろうとモチベーションが上がった」と話した。

このほか、神島高校出身で、武庫川女子大学1年の栗原萌衣さん(18)は女子カヤックシングル1000メートルで4位に入った。「大学の練習は高校の時よりきついけど楽しい」と話した。